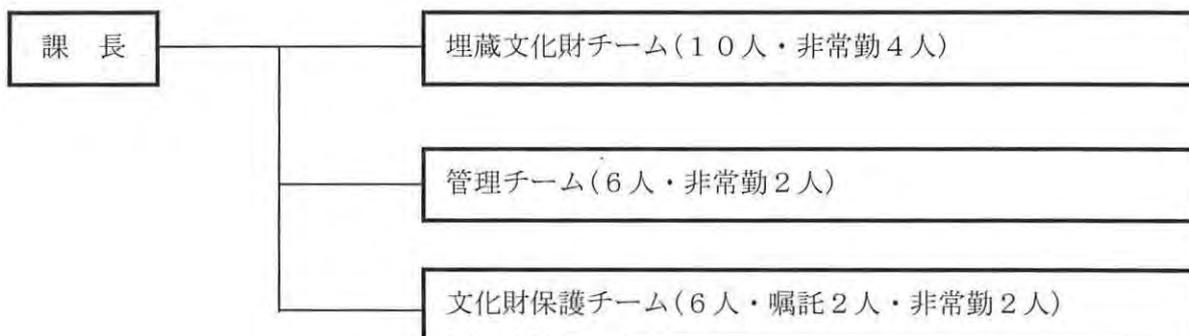


6 . 報 告

6 報告（1） 平成29年度の事業報告

I. 組織と業務概要

1. 組織



2. 事務分掌

- (1) 文化財の保護及び活用に関すること。
- (2) 文化財の指定及び管理に関すること。
- (3) 文化財専門委員会に関すること。
- (4) 文化財関係団体に関すること。
- (5) 埋蔵文化財に関すること。
- (6) 埋蔵文化財センターに関すること。
- (7) 収蔵館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- (8) 文化財収蔵資料審議会に関すること。
- (9) 収蔵館の維持管理に関すること。
- (10) 博物館の建設準備に関すること。
- (11) 歴史公園に関すること。
- (12) 坂本繁二郎生家に関すること。

3. 業務概要

久留米市が有する歴史的な資源の適正な保護とその利用及び活用に努めるとともに、市民が歴史や伝統を身近に感じ、親しみ、暮らしに生かす機会を提供することで、市民意識の醸成や地域文化の継承に役立ててきた。また、地域の活性化につなげるために、地域と連携した事業の展開を図ってきた。

また、「公益財団法人有馬記念館保存会」、「公益財団法人久留米絣技術保存会」を所管し、運営を行った。

(1) 文化財を守り伝える

- ①埋蔵文化財発掘調査においては、開発と文化財保護の調整を図るとともに、事業の効率化、迅速

化及び標準化など円滑な実施に努め、併せて調査結果の公表のため報告書を刊行するなど、市民の理解と協力を得る取組を行った。

- ②埋蔵文化財センターを中心に、埋蔵文化財の整理・保存と調査・研究を行うとともに、生涯学習・教育活動の場としての活用を図った。
- ③有形、無形、民俗その他の文化財の積極的な調査と保存・活用に努めるとともに、総合的な記録の整理と活用に取り組んだ。

（２）文化財に親しむ

- ①文化財保護に関する市民意識の高揚を図るため、文化財の周知と啓発に努めた。
- ②生涯学習振興の観点から、六ツ門図書館展示コーナーでの企画展等を開催した他、埋蔵文化財センターでは六ツ門企画展との共同展示及び常設展示、上津校区での展示会、歴史探訪や出前講座など、地域に根ざした文化財を学び、親しむ機会の充実に努めた。
- ③市民の文化財保護活動の充実、促進を図るため、文化財保存事業及び文化財保護団体等への活動支援を行うとともに、文化財を活用した地域密着観光など、市民との協働のまちづくりを進めた。
- ④市民が文化財に親しみ、理解を深めることができるよう説明板等の改修や「山川校区の文化財マップ」の作成を行った。
- ⑤生涯学習施設としての「歴史博物館」について、資料の収集・調査に努める一方で、これまでの経緯を十分に踏まえ、今後のあり方の検討を行った。また、企画展等を開催するとともに、市民からの問い合わせや資料貸出しを行う等、収集した資料の有効活用を図った。

（３）文化財を暮らしに生かす

- ①筑後国府跡、高良山神籠石などの史跡の保存・保護を図りながら環境整備を進めるとともに、市民の地域学習や歴史学習、小中学校の野外学習やレクリエーション、交流の場としての活用を促進した。
- ②市内に現存する歴史的建造物などを中心に調査し、貴重な物件は歴史的文化遺産として指定、保存等を行い、必要に応じた修理・復元を行いながら、市民の暮らしの中で地域学習や生涯学習など多くの場面でその活用を図った。

◎主な事業の概要

事業名	事業概要	決算額（千円）	予算額（千円）
		29年度	30年度
発掘調査事業	開発に際し、埋蔵文化財の現状保存ができないと判断した場合は、記録のため発掘調査を行った。同時に、わが国及び久留米地域の歴史・文化等への理解を促し、市民の郷土愛の醸成を目指し、その成果を公表した。	計 80,933	計 167,051
埋蔵文化財センター事業	発掘調査に伴う出土品や記録類を集中管理し、調査研究するとともに、市民の多様な文化的活動の展開を支援するため、展示会や体験学習、学校教育の「総合的な学習の時間」などへの事業を実施した。	計 1,518	計 1,718
観光拠点整備事業 (有馬記念館運営補助)	有馬記念館の収蔵資料を保存・活用して、久留米の江戸時代や郷土の歴史に関する情報の公開展示を行い、久留米城跡等歴史文化施設とともに広くPRして観光拠点として集客を促進した。	計 8,997	計 10,051
歴史博物館整備検討事業	これまで寄贈・寄託された資料を六ツ門図書館展示コーナーなどの文化・観光施設において積極的に活用し、定期的な展示会を開催するとともに、博物館整備について、これまでの経緯を十分に踏まえ、今後のあり方の検討に着手した。	計 7,591	計 10,204
歴史資料収集活用事業 *29年度事業	郷土に関わる歴史資料を収集し、資料の散逸を防ぐことを目的として、田中久重作の「文字書き人形」を購入した。また収集資料を公開するための特別展を開催した。	計 64,591	—
筑後国府跡 歴史公園整備事業	史跡筑後国府跡は、律令制における古代都市で、久留米の都市づくりの原点といえる。史跡の整備により、市民が歴史を学び、楽しく活用し、住宅地に緑あふれる歴史公園を創出することによって魅力あるまちづくりを推進するため、史跡の公有化に取り組んだ。	計 38,342	計 12,035
歴史的建造物保存 整備事業	市内に残る歴史的価値のある建造物の調査・保存・整備・活用を図り、市民が身近な場所で歴史を感じながら暮らすことのできるまちづくりを推進した。	計 6,058	計 982
史跡等環境整備事業	市民が歴史に親しみながら憩う場として、地域の特性を生かした「歴史の広場」の整備を進め、まちづくりの素材としても多くの場面での活用を図った。	計 3,412	計 3,890
歴史ルートづくり 事業	地域の歴史をテーマにしたストーリーに基づき、エリア内の歴史遺産を整理することにより文化財の保護と活用を図るため、歴史遺産活用の拠点として史跡や歴史公園等の施設管理や、エリア内	計 12,765	計 16,258

	の環境整備を進めた。また年度末にイベントも実施した。		
文化財施設維持補修事業 *29年度新規事業	文化財収蔵館や埋蔵文化センター等、収蔵資料の保存及び活用施設の適切な維持管理のため、必要な改修または補修を実施することで文化財の活用を図った。	計 35,348	計 3,240
文化財保護団体等育成事業	絵画や典籍および彫刻などの有形文化財や、祭りなどの無形文化財の管理および普及活動を行っている団体に対して補助金を交付し、文化財の保護を図った。	計 1,181	計 1,446
坂本繁二郎生家活用事業	久留米城下町に唯一残る武家屋敷である坂本繁二郎の生家（市指定文化財）を保存・活用し、後世へ伝えるための展示会等を実施した。また、重要な地域資源としてPRし、貸室の新規利用者の獲得や他団体主催イベントの会場やコースに利用するなど、多方面で活用することが出来た。	計 309	計 427

Ⅱ. 文化財の指定

年度当初で久留米市内の指定文化財は、国指定文化財 32 件、県指定文化財 43 件、市指定文化財 104 件、国登録文化財 5 件である。

久留米市内の指定文化財一覧表

指定別	総数	有形文化財										無形文化財	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	選定技術保存	登録文化財
		総数	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料								
総数	179	81	21	11	18	9	2	0	8	9	3	2	31	10	23	1	26	0	5
国	32	13	2	3	4	2	2	0	0	0	0	1	0	1	9	0	3	0	5
県	43	22	8	3	3	3	0	0	2	3	0	1	5	2	6	0	7	0	0
市	104	46	11	5	11	4	0	0	6	6	3	0	26	7	8	1	16	0	0

(平成 30 年 3 月 31 日) ※史跡と天然記念物に二重指定されている「目安町の一里塚」は史跡に含んでいる。

平成 29 年度については、新たに指定を予定している物件はない。

Ⅲ. 埋蔵文化財調査事業の概要

1. 埋蔵文化財事前確認

29年度の窓口受付件数は720件。内訳は対象外451件、要調査267件、事業進捗状況に伴い未回答のもの2件である。要調査のうち、設計変更や協議によって調整を図り、工事立会もしくは慎重工事での対応が190件で、発掘調査と回答した77件の内、発掘調査の対応を行ったのは17件であった。

なお、26年度の8月より、GISを活用した窓口での照会件数もカウントしているが、1日平均で18件程度の問い合わせがある。

「埋蔵文化財包蔵の有無について」の照会件数の推移

年度	受付件数	対象外	要調査	要調査のうち			未回答
				保存調整	発掘調査	未調査	
25年度	625件	474件	146件	108	23	15	5
26年度	534件	397件	132件	107	15	10	5
27年度	637件	396件	227件	179	24	24	14
28年度	650件	457件	183件	140	24	19	10
29年度	720件	451件	267件	190	17	60	2件

*保存調整とは工事立会・慎重工事での対応、未調査には売買・事業取消しを含む。

*未回答とは事業の進捗状況等のため、当該年度内において回答に至っていないもの。

2. 発掘調査

(1) 発掘調査及び整理作業

平成29年度に実施した発掘調査は以下の通りで、22地点で実施した。調査原因は公共の市事業1件、民間受託事業6件、個人住宅等の国庫補助事業15件である。

整理作業については、調査事務所において発掘調査報告書刊行の遺跡の出土遺物の作業を中心に実施。主な作業内容は、遺物の洗浄・復元・実測及び報告書刊行分の埋蔵文化財センターへの搬入前の登録作業である。

調査番号	遺跡名	調査期間	調査面積	担当者
201701	南薫本村遺跡 第8次調査	平成29年4月12日～平成29年4月25日	80 m ²	小川原・神保
201702	白川遺跡 第14次調査	平成29年4月13日～平成29年5月15日	92 m ²	西
201703	麓遺跡 第1次調査	平成29年4月11日～平成29年5月31日	250 m ²	江頭
201704	高三瀦遺跡 第7次調査	平成29年4月17日～平成29年6月15日	117 m ²	小川原
201705	久留米城下町遺跡 第26次調査	平成29年6月5日～平成29年7月4日	64 m ²	大隈・神保
201706	白川遺跡 第15次調査	平成29年5月15日～平成29年5月31日	144 m ²	西

調査番号	遺跡名	調査期間	調査面積	担当者
201707	筑後国府跡 第289次調査	平成29年7月3日～平成29年8月11日	400 m ²	小川原
201708	白川遺跡 第16次調査	平成29年6月1日～平成29年6月22日	101 m ²	西
201709	白川遺跡 第17次調査	平成29年6月22日～平成29年7月20日	74 m ²	西
201710	庄島侍屋敷遺跡 第27次調査	平成29年6月27日～平成29年7月26日	170 m ²	江頭
201711	久留米城下町遺跡 第27次調査	平成29年8月1日～平成29年11月8日	280 m ²	江頭
201712	筑後国府跡 第290次調査	平成29年9月4日～平成29年9月21日	158 m ²	大隈・神保
201713	十間屋敷遺跡 第9次調査	平成29年9月11日～平成29年9月25日	127 m ²	西
201714	大井遺跡 第2次調査	平成29年9月12日～平成29年10月26日	150 m ²	小川原
201715	高三瀦遺跡 第8次調査	平成29年10月10日～平成29年12月15日	171 m ²	小川原
201716	古町遺跡 第1次調査	平成29年10月19日～平成29年11月30日	288 m ²	大隈・神保
201717	汐入遺跡 第4次調査	平成29年10月30日～平成29年11月10日	69 m ²	西
201718	麓遺跡 第2次調査	平成29年11月13日～平成29年11月15日	50 m ²	江頭
201719	白川遺跡 第18次調査	平成30年1月9日～平成30年3月19日	277 m ²	西
201720	久留米城下町遺跡 第28次調査	平成30年1月10日～平成30年3月14日	104 m ²	小川原
201721	久留米城外郭遺跡 第25次調査	平成30年1月15日～平成30年3月14日	360 m ²	江頭
201722	筑後国府跡 第291次調査	平成30年2月5日～平成30年3月12日	183 m ²	大隈・神保

(2) 今後の課題

課題としては、現地説明会等の普及事業が時間的制約から確保できない。また恒常的な調査員不足から調査・整理作業ともに滞っており、民間支援機関の導入・活用を視野に入れる必要がある。

3. 埋蔵文化財センター事業

(1) 平成 29 年度の概要

平成 29 年度に実施した国庫補助事業の「地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業」については、平成 28 年度より継続して、筑後国府跡の調査で得られた資料の収納形態及び検索体系を整え、資料の有効な活用・公開を行うことを目的として、再整理を行った。本年度は、第Ⅱ期政庁が存在した阿弥陀地区の出土品の再点検作業を実施した。

また、地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業に伴い、山川校区コミュニティセンターを会場として、8月2日～同30日の期間、山川校区の歴史を紹介する企画展「山川の歴史展」を開催、地元への調査成果の普及・啓発・還元に努めた。

主な普及活動としては、9月9日（土）を期間として「高三瀧遺跡出土資料展示会」を三瀧校区コミュニティセンターで開催した。また、10月12日（土）・13日（日）を期間として、「海津城出土遺物展示会」を安武校区コミュニティセンターで開催した。また、みづま祭り会場において「勾玉づくり」を2回実施し、体験活動を通じた普及・啓発を行った。

この他、発掘調査および報告書が刊行された遺跡については、出土品を含む記録類の受け入れを行い、資料の貸出や閲覧に対応できるよう情報を管理し、収蔵している。

(2) 入館者数

平成 29 年度の当センター入館者総数は 1,344 人であった。

入場者数を月別に見ると、11月が突出して多い。この要因は考古資料展が開催されるためである。特に11月12日（日）は「えーるピア久留米」を主会場として多くの子どもや保護者が参加する「マナビランド」が開催され、埋蔵文化財センターもスタンプラリーのチェックポイントの一つとして展示にまつわるクイズに回答しスタンプを受ける方式で参加したことにより、当日だけで665名の入場者があった。

平成 29 年度月別入館者推移一覧

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	68	48	37	53	94	45	26	792	21	24	79	57	1344

(3) 資料活用

①資料貸出

学校や地域、さらには学術研究や印刷物掲載にかかる目的で、資料の貸出申請が 16 件 150 点においてあり、そのすべてを受付後に許可した。ただし、画像の貸出についてはフィルム現物の館外貸出

は控えている。これは、写真資料の保存に重点を置くため、画像はデジタルデータを貸し出すことで理解していただいている。

	期 間	借用申請者	目 的	貸出品名	点数
1	4/1~3/31	九州国立博物館	文化交流展示「海の道、アジアの路」展示のため	<ul style="list-style-type: none"> ・ 轟 B 式土器 1 (野口遺跡) ・ 網籠 1 (正福寺遺跡出土) ・ 石匙 2 (野口遺跡出土) ・ 磨製石斧 1 (野口遺跡出土) ・ 重要美術品 石人頭部 (岩戸山古墳出土 篠山神社蔵) ・ 家形埴輪 (石人山古墳出土) 	7
2	4/1~3/31	九州歴史資料館	常設展示	<p>中原狐塚古墳出土 土師器台付壺 1 点 須恵器高坏 1 点、須恵器ハソウ 1 点、鉄鏃 13 点、鉄刀子 1 点、三累環頭 2 点、正福寺遺跡出土どんぐり入り編みカゴ 1 点、筑後国府跡出土 土器 (東限大溝出土) 7 点、「守館」銘墨書土器 1 点、イスラム器 2 点、筑後国分寺跡出土 軒丸瓦 (創建期) 1 点、軒平瓦 (創建期) 1 点</p>	32
3	4/20~5/2	個人	資料調査	野崎遺跡欠下遺跡若林遺跡、名生館官衙遺跡 XX II 灰塚遺跡、細谷地遺跡、武蔵台東遺跡 I - (1)、(2)	5
4	4/24~4/27	安武小学校	歴史学習のため	くるパック	1
5	5/1~5/10	個人	資料調査	水分遺跡第 7 次調査遺構編 355 集、筑後国府跡 I 期政庁地区・写真図版編 383 集、筑後国府跡平成 27・28 年度 381 集	4
6	5/18~5/26	岩戸山歴史文化交流館	資料調査	次郎太郎古墳群・国指定史跡 仙道古墳	2
7	9/9	高三潞北自治会	高三潞講演会展示	高三潞遺跡小銅鐸、連玉、弥生土器、パネル	29
8	9/25~1/16	個人	資料調査	柳原書籍 1 冊	1
9	8/29~9/17	岩戸山歴史文化交流館	体験イベント「縄文かごづくり」資料掲載のため	正福寺遺跡写真	3

10	9/25～1/16	佐賀市教育委員会	東名遺跡活用イベント企画展	正福寺遺跡出土編みかご3点、写真データ5点	8
11	9/30～12/3	鈴鹿市教育委員会	平成29年度特別展「道でつながる古代の役所」展示・ポスターチラシへの掲載	西海道跡第1次調査地写真、車地遺跡写真、筑後国府跡第55次調査写真	3
12	10/12～10/24	山川校区郷土研究会	校区文化祭展示	横道遺跡・神道遺跡・筑後国府跡・ヘボノ木遺跡・新府遺跡・市ノ上東屋敷遺跡・朝妻焼窯跡写真パネル・市ノ上西屋敷・祇園山古墳・福聚寺古墳写真データ	10
13	10/10～10/13	安武校区まちづくり振興会	校区文化祭展示	海津城出土資料・パネル、展示台	11
14	11/10～11/13	あきない祭実行委員会	あきない祭展示	京隈侍屋敷遺跡、久留米城下町遺跡出土資料	23
15	2/23～2/26	北筑後文化財行政連絡協議会	北筑後文化財フェスタ	太郎原遺跡出土須恵器)	3
10	2/23～6/30	九州歴史資料館	企画展	筑後国府跡出土イスラム陶器5点、墨書土器3点、緑釉香炉1点	9
合 計					151

②資料の掲載

当センターの収蔵資料を印刷物に掲載する申請が6件17点提出された。

この申請について全てを許可した。

	申請者	掲載品名	点数	掲載書名・内容
1	個人	正福寺遺跡出土 どんぐり入り籠	1	山陰地方における縄文文化の研究掲載のため
2	個人	久留米市文化財保護課年報4P56-59掲載写真4点、第34回くるめの考古資料展パンフP12写真33、34、筑後国府東限大溝出土の陸奥系土器写真、久保遺跡巻頭図版1-3	10	HP掲載
3	一般財団法人西日本文化協会	北東上空より見た筑後国府跡写真(デジタルデータ)	1	西日本文化掲載
4	株式会社 洋泉社	高良山神籠石画像(デジタルデータ)	1	最新日本史講座 邪馬台国に掲載

5	福岡県筑後川水系農地開発事務所	筑後国の条理制後農地の判る、山本郡条理写真データ	1	平成 29 年度農業農村工学会九州沖縄支部大会第 98 回講演会
6	柳川古文書館	道蔵遺跡出土 「三万少領」墨書土器 1 点、筑後国府跡出土「介」・「守館」墨書土器 2 点	3	柳川の成り立ち図版掲載

合 計 17

③資料の閲覧

21 件の閲覧申請があり、館内特別閲覧の許可を行なった。

	閲覧者 または 団体名	目 的	日 付	資 料 名
1	個人	資料調査	5 月 15 日	石櫃山古墳石棺
2	個人	資料調査	8 月 30 日	国分寺瓦
3	個人	資料調査	10 月 17 日	城下出土芙蓉手皿
4	個人	資料調査	9 月 8 日	野口遺跡石斧
5	個人	資料調査	10 月 2 日	城下町遺跡出土陶磁器
6	個人	資料調査	10 月 31 日	城下町遺跡出土陶磁器
7	個人	資料調査	11 月 20 日	市内出土土器
8	個人	資料調査	11 月 22 日	城下町遺跡出土陶磁器
9	個人	資料調査	11 月 24 日	城下出土芙蓉手皿
10	個人	資料調査	11 月 29 日	城下町遺跡出土陶磁器
11	吉野ヶ里歴史公園	資料調査	12 月 19 日	市内出土弥生土器資料
12	愛知県陶磁美術館	資料調査	12 月 20 日	緑釉香炉他
13	中央大学	資料調査	1 月 16 日	正福寺遺跡出土資料
14	島根県古代文化センター	資料調査	2 月 8 日	隈山・西行古墳出土資料
15	吉野ヶ里歴史公園	資料調査	2 月 22・23 日	市内出土資料

	史公園			
16	朝倉市教育委員会	資料調査	2月27日	キリシタン瓦
17	柳川古文書館	資料調査	2月28日	国府出土墨書土器「介」、道蔵「三万少領」
18	沖縄県立博物館	資料調査	3月2日	市内出土玉類・野口石斧
19	別府大学	資料調査	3月6日	地徳・新府出土鋳型
20	個人	資料調査	3月20日	キリシタン瓦
21	個人	資料調査	3月26日	国分寺瓦

④施設利用

センター内の団体による施設見学・展示案内と解説などは1件であった。

	見学者または団体名	目的	日付	人数
1	吉野ヶ里歴史公園	ボランティア学習	2月22・23日	50名
		合計		50名

(4) 埋蔵文化財保存活用整備事業

平成29年度における国庫補助事業「地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業」として、筑後国府跡の再整理を実施した。また、I期政庁の整理結果の報告書刊行を行った。なお、再整理後のコンテナ数は、次のとおりである。

筑後国府跡（第2・6・14・52・87・93・100・105・118・119・145・156次）

・新規1種遺物収納パンコンテナ総数 65箱

(5) 図書類

◆寄贈図書

報告書・紀要・図録類：1088冊

◆購入図書

定期購読：『考古学ジャーナル』No.666～677（ニュー・サイエンス社）

『文化財発掘出土情報』通巻418号～430号（㈱ジャパン通信情報センター）

IV. 文化財保存・整備事業

本年度に係る事業は、美術品の修復3件、熊本地震関連修復事業1件、建造物関連事業4件、歴史資料調査事業1件、史跡等の整備に係る事業3件、名勝・天然記念物保存事業3件を実施している。

1. 有形文化財・民俗文化財

(1) 収蔵資料補修事業

①収蔵資料補修事業

平成29年度の収蔵資料補修事業は、船曳大滋「国府ノ図」、吉山家文書「吉山左平次像」、「吉山喜右衛門像」の3点について実施した。補修はすべて熊本市の富永米山堂へ委託した。

船曳大滋「国府ノ図」は、江戸後期の久留米の歌人で、書画をよくした船曳大滋（ふなびきたいじ）が筑後国府を描いたもの。紙本淡彩。裏打ちされておらず、シミ、折れ、破れが多く見られるため、本紙の欠失箇所を補修紙で繕い、周りに和紙で保護紙を付ける。付属の封筒は同じ台紙（マット）に窓を開け並べて保存を行った。表装については、中性紙の台紙、マット、表紙（和紙）を作



船曳大滋「国府ノ図」修復前



船曳大滋「国府ノ図」修復後



「吉山左平次像」左：修復前 右修復後



「吉山喜右衛門像」左：修復前 右修復後

り、この間に挟みマット装とし収納保存を行った。また、紙箱を新調して収納保存を行うこととした。吉山家文書「吉山左平次像」、「吉山喜右衛門像」は、久留米藩の有力町人であった吉山家に関する資料群の一つである。佐平次（?～1821）は吉山家三代にあたる。四代喜右衛門（?～1857）による賛あり。横折れが多く、表装がはがれかかっており、汚れもある。

修復方法は、本紙は旧肌裏紙を除去して新しい美濃紙にて肌裏打ちを行い、その際に欠損箇所は調整した補修紙にて繕いを行う。虫糞は印刀で物理的に除去を行った。補修箇所は絵具等で補彩（薄目で基調色の補彩を行い線は入れない）を入れて補強する。折れた箇所・将来折れそうな箇所は、折り伏せ（美濃紙を細く切ったもの）を入れて補強する。表具形式は元の裂の再使用を行い、中縁の右側の欠失の裂は似寄りの裂の調達を行った。軸首は取り替え、金箔押しの塗軸を新調する。最後に桐太巻芯添葉籠箱と包裂を新調し保存収納を行った。

（2）熊本地震関連修復事業

①上野家住宅御成間災害復旧事業

平成 28 年 4 月の熊本地震により、建物全体に歪みが生じ、建物内外面の土壁各所にクラックや、壁土の浮きなどが生じた。平成 29 年度に実施した災害復旧事業では不陸修正を行い、雲筋交いによる屋根裏の構造補強や礎石周りの補強、また、左官工事や木工事等を実施した。本事業期間は平成 29 年 4 月 26 から平成 29 年 12 月 30 日までである。



上野家住宅御成間事業完了後（南東から）

（3）建造物関連事業

①高良大社本殿・幣殿・拝殿屋根葺き換え事業

事業の最終年度（3 ヶ年目）となる平成 29 年度は、箱棟瓦復旧・軒付積等による屋根工事の仕上げを行うとともに、建具工事、塗装工事、耐震工事などを実施し、平成 29 年 8 月 31 日に事業を完了した。

②須佐能神社保存修理（屋根補修）事業

本殿の檜皮葺き屋根の一部が破損し、雨漏りが発生した。これを補修するため、棟周辺の檜皮差し替えを行った。事業期間は平成 30 年 3 月 26 日から平成 30 年 3 月 30 日までである。



高良大社屋根葺き替え状況（北西から）

③本泰寺山門修復事業

屋根瓦の破損が進むとともに、瓦のずり下がりが生じた。また、これに起因した雨漏りのため鼻先瓦直下木材と敷居木材の腐朽が進行していた。これらを是正し、建築当初の状況を復元することを目的として、事業を行った。事業期間は平成29年7月1日から平成30年3月31日までである。

④歴史的建造物等調査事業

平成29年度には、寺町本泰寺山門、旧金文堂書店本店、元久留米中央図書館西分館（旧十七銀行久留米支店）の3ヵ所について記録保存調査を実施した。なお、寺町の寺院建物群については平成25年度から継続調査を行い、17ヵ寺院の内11ヵ寺院の調査を終了している。

（4）史料調査事業

①高良大社歴史資料調査事業

国庫補助事業として平成29年度より3ヵ年計画で実施する。高良大社歴史資料の悉皆調査及び保存整備を目的として事業を推進し、平成31年度に報告書を刊行する。事業初年度となる29年度には、古文書・書画・近代文書等のクリーニング・調書作成・概要写真撮影及び目録作成を実施した。

2. 記念物

（1）史跡等の整備に係る事業

①筑後国府跡歴史公園整備事業

平成29年度は、Ⅱ期政庁地区1筆の公有化を行った。現在の公有化面積は、36,174.62㎡（台帳及び実測面積）である。国、市有地を含めると公有化率は、85.71%となる。Ⅱ期政庁地区については宅地が多く、公有化率70%となっている。なお、国司館地区の未公有化地は残り2筆である。

②史跡筑後国府跡保存活用計画策定事業

平成30年度から2ヵ年で計画を策定する予定である。

③史跡下馬場古墳石室内環境調査

東京文化財研究所の協力を得て、保護施設の老朽化による石室内への温湿度の影響、将来の古墳公開のあり方を考えるための基礎データ取得を目的として、石室内の温湿度調査を実施する。石室内に温湿度計を4基、石材の表面温度を測る温度計を8基、屋外に温湿度計を1基設置している。調査期間は、平成26年9月から平成30年4月までを予定している。

（2）名勝・天然記念物保存事業

①県指定天然記念物「善導寺の大クス」再生事業

平成28年9月2日未明、幹の腐朽、梢端・枝端の枯損により幹・枝が折損した。29年度には樹勢回復を図るため4ヵ年計画で再生事業に着手し、一部の土壌改良及び剪定工を実施した。改良は水圧によるものとし、根の損傷を極力回避した。また、改良土は腐葉土・枯割竹、木炭等を混入させた自

然改良型とした。

②県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業

例年1月下旬から2月上旬に実施しており、本年度は2月1日に地元団体である柳坂ハゼ並木保存会、県立筑水高等学校が剪定作業を行い、文化財保護課が剪定枝の回収及び廃棄を担当した。

③市指定史跡天然記念物「目安町の一里塚」撤去事業

平成29年9月16日から18日にかけて、台風18号の影響によりエノキの幹が折損し、9月29日には折損した幹の撤去を行った。撤去後、橋川ひろみ委員の指導の下、対処法を検討した。その結果、すぐに倒壊する危険性が低いことから、枯死していない西側幹の生育について経過観察を実施することとした。今後、幹に不安定な状況が看守された場合には、支柱等で幹を支えることも検討中である。



エノキ折損状況①（北東から）



エノキ折損状況②（南西から）

V. 文化財管理事業

1. 文化財保護団体育成補助事業

文化財保護課では、地域の文化財を保護育成するため、文化財保護団体や地域活動団体等へ補助金を交付している。

平成 29 年度は、14 団体に補助金を交付した。

(1) 文化財保護団体 (10団体)

①大善寺玉垂宮鬼夜保存会	重要無形民俗文化財「大善寺玉垂宮の鬼夜」管理団体
②花火動乱蜂保存会	県指定無形民俗文化財「動乱蜂」管理団体
③北野天満神社神幸行事保存会	県指定無形民俗文化財「北野天満神社神幸行事」管理団体
④草野風流保存会	市指定無形民俗文化財「須佐能袁神社の神幸祭」管理団体
⑤若宮八幡宮神幸祭実行委員会	市指定無形民俗文化財「若宮八幡宮の神幸祭」管理団体
⑥御井町風流保存会	市指定無形民俗文化財「御井町風流」管理団体
⑦八丁島の御供納	市指定無形民俗文化財「八丁島の御供納」管理団体
⑧満月会保存会	市指定無形民俗文化財「十五夜さん大綱引き」管理団体
⑨高良山同志会	市指定無形民俗文化財「高良山獅子舞」管理団体
⑩柳瀬獅子舞保存会	市指定無形民俗文化財「柳瀬おくんち獅子舞」管理団体

(2) 研究会・文化財を活かした地域活動団体 (4 団体)

- ①高良山の緑と史跡を守る会
- ②久留米郷土研究会
- ③山川校区郷土研究会
- ④田主丸郷土会

2. 文化財施設・史跡等管理事業

文化財保護課が所有している施設及び指定史跡を 4 団体及び個人 1 名と随意契約にて管理委託し、指定史跡 2 箇所(草刈り)については、指名競争入札により業者に業務委託している。

(1) 指定文化財の管理業務

【個人委託】

- ・大善寺旧庫裡 市指定有形文化財(建造物) 旧庫裡の施錠管理、清掃、点検。個人

【団体委託】

- ・浦山古墳 国指定史跡 保存庫の施錠管理、見学者の対応。成田山久留米分院
- ・高良山神籠石 国指定史跡 高良山神籠石の清掃、見回り点検。高良大社

- ・日輪寺古墳 国指定史跡 保存庫の施設管理、見学者の対応。日輪寺
- ・目安町の一里塚 市指定史跡天然記念物 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 目安町自治会

【業者委託】

- ・筑後国府跡 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年4回実施
- ・安国寺甕棺墓群 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年4回実施

(2) 歴史公園管理業務

以下の施設の管理業務について、地域団体等に委託している。

- ・おおはし歴史公園 県指定有形文化財（建造物）である石浦大橋を含む公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・御塚・権現塚史跡の広場 国指定史跡である御塚古墳、権現塚古墳と公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・大塚古墳歴史公園 国指定史跡である田主丸大塚古墳と歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃

3. 防犯・防災事業

(1) 文化財防火デー

文化財愛護に関する意識の高揚を図る目的として、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めており、例年、久留米市でも関係機関とともに訓練を実施している。平成29年度の実施概要は次のとおりである。

日 時：平成30年1月20日（日）9時30分～10時30分

場 所：久留米市指定有形文化財（建造物）「坂本繁二郎生家」（久留米市京町224番地1）

主 催：文化財保護課

参加者：久留米消防署、地元消防団（第2分団）、坂本繁二郎生家保存会スタッフ、文化財保護課
株式会社倉重ポンプ商会（動力ポンプ、エンジン操作の補助）

内 容：9：29 スモークマシーンを焚く

9：30 119番に通報訓練＋初期消火＋来客の避難誘導

9：32 訓練指令

9：35 消防署の関連車、順次出動

9：37 消防団の関連車、順次出動

取水及び放水を実施

10：15 講評後、終了・解散

解散後 消火器及び動力ポンプ使用法訓練（対象：坂本繁二郎生家保存会スタッフ）

(2) 防災施設設置及び管理事業

文化財を火災から守るための防災施設の保守点検等に関する補助金を交付している。

平成 29 年度は、次のとおり補助金を交付した。

・高良大社本殿他	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	高良大社
・善導寺木造善導大師坐像他	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	善導寺
・専念寺木造阿弥陀如来立像	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	専念寺
・無量寺木造阿弥陀如来立像	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	無量寺
・国分寺地蔵来迎図板碑	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	国分寺
・朝日寺木造神子栄尊坐像	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	朝日寺
・須佐能袁神社本殿、拝殿及び楼門	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	須佐能袁神社
・鹿毛家住宅	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	個人
		防災設備小修理	個人
・上野家住宅御成間	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	個人

この他、福岡県文化財保護課を通じて依頼があった文化財の防犯に関する注意喚起を行った。